

## 令和5年度 学校総合評価

### 6 今年度の重点目標に対する総合評価

本校では、生徒の実態を踏まえて、魅力ある定時制通信制教育の推進に努めてきた。さまざまな問題を抱えた生徒たちが、卒業後社会人として自立し、逞しく生きる力を身に付けるため、今年度も引き続き、生徒の実態に即した組織的で効果的な指導体制の充実を図るとともに、個々に対応したきめ細かな支援を行った。今年度は6つの重点課題の改善に取り組んだ。

学習活動【その1】では、重点課題を「学習習慣の確立と単位修得」とした。通常の学校生活に困難を抱える生徒が多く、学習習慣が身に付いていないため基礎学力の定着度が低いという現状を踏まえて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーや外部機関との連携を強化し状況把握に努め、単位修得や進路目標の意識づけを工夫した。

学習活動【その2】では、重点課題を「読書習慣の定着」とした。読書習慣が身に付いている生徒は限られているという現状を踏まえて、今年度は廊下掲示や電子掲示板で企画や図書への関心を促すようにしたり、学園祭で図書委員企画の一行小説や生徒リクエスト本の投票などの企画をしたりした。

学校生活【その1】では、重点課題を「生徒の自律性・主体性の向上」とした。昼間単位制では、生徒会が校則について検討し、守るべき規範は何かを考えることを通して規範意識を高め自主的自律的な行動を促した。夜間単位制では特別活動を活性化させるなかで、自己肯定感を涵養するとともに、ルールやマナーを身につけたりする機会をもった。通信制ではスクーリング時に、学校行事やホームルームに参加することで、社会性を養い、多様性を身につけ、自ら学習する態度を培った。

学校生活【その2】では、重点課題を「基本的生活習慣の確立」とした。生徒が良い睡眠をとれるようになり、心とからだの健康を目指すことを目標として、講演等を通して良い睡眠をとれる方法を考え実行しようという意識の向上を目指した。

進路支援では、重点課題を「進路実現をめざす支援活動」とした。進路決定の際に知識や情報が不足している生徒が多く、進路意識や学力などに大きな個人差があるため、一斉の進路学習は難しいという現状を踏まえて、進路意識の向上のため、外部講師による講義や体験を通して、進路意識の向上に努めた。

特別活動では、重点課題を「生徒が主体となる自主的な特別活動の推進」とした。特別活動の時間確保が困難であり、生徒の多くは自主性に乏しく集団活動を苦手とし、学校行事への参加に必ずしも積極的ではないという現状を踏まえて、生徒会執行委員会と各委員会が連携することで生徒会活動をより活発化させた。また、地域との交流など生徒が主体的に参加できる機会を増やし、協働・共生していく姿勢の育成を目指した。

### 7 次年度に向けての課題と方策

今年度も生徒の実態を踏まえた「個々に応じた学習活動」及び「社会的自立に向けた能力を身に付ける」ための支援に重点を置いて取り組んできた。今後は、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動等、あらゆる場面において、担任、年次、授業担当者はもちろん、他の課程の教員や保護者と必要に応じて情報や指導・支援方針を共有し、個別指導に対応できるようにしていきたい。

生徒の自立につなげるために地域や外部機関との連携を積極的に行っていくことが重要である。